



LG Pocket Photo

ポケット フォト プリンター

取扱説明書

本機をご利用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

モデル名 : PD269W/ PD269P / PD269B



Android™



Fun Application



Inkless Paper



Bluetooth®



* M F L 6 9 6 6 8 4 0 6 *



実際の製品はイラストと異なる場合があります。

<http://www.lg.com/jp>

安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」は、商品を正しく安全にお使いいただき、事故や危険を未然に防ぐためのものです。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。



警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

取り扱いを誤った場合、人がけがをしたり物的損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

■ 図記号の意味



禁止

禁止内容(してはいけないこと)を表しています。



プラグを抜く



ぬれ手禁止

注意内容(気をつけること)を表しています。



指示

指示内容(しなければならないこと)を表しています。



警告

異常や故障のときは

- 本機を高い場所から落としたり、破損したりしたときはすぐに電源プラグを抜く。

そのまま使用すると火災や感電の原因になります。すぐに当社カスタマーセンターにご相談ください。



プラグを抜く

- 故障や異常に気づいたら本機の電源を切り電源プラグを抜く。

- 煙やにおい、異臭がする。
- 内部に水やものが入った。

そのまま使用すると火災や感電の原因になります。すぐに当社カスタマーセンターに修理をご依頼ください。



プラグを抜く

警告 電源について

- 付属の充電器以外のものを使用しない。

火災や感電の原因になります。

- 充電器やケーブルの上に重いものを載せない。

火災や感電の原因になります。



禁止

- 充電器やケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしない。

火災や感電の原因になります。コードが破損した場合は、すぐに当社カスタマーセンターにコードの交換をご依頼ください。



禁止

- 充電器の電源プラグは根元までしっかりと差し込む。

電源プラグが外れかけたまま使用すると、火災や感電の原因になります。電源プラグを長い間差し込んだままお使いになる場合には、定期的にご確認ください。



指示

注意 電源について

- 電源コードを熱器具に近づけない。

電源コードの被覆が溶けて火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となる場合があります。



ぬれ手禁止

- 電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない。

電源コードの損傷や断線により、火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

- タコ足配線をしない。

火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

※ 本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源ボタンを切っても、電源は接続状態になっています。

警告 設置について

- 屋外や浴室など、水がかかるおそれのある場所や、窓際など水滴の発生する場所に置かない。

火災や感電の原因になります。



禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。

本機が倒れたり落下したりすると、火災や感電の原因になったり、けがをするおそれがあります。



禁止

- 振動のある場所に置かない。

振動で本機が動いたり、倒れたりすると、火災や感電の原因になったり、けがをするおそれがあります。



禁止

- 本機の近くに花瓶や水の入った容器などを置かない。

水がこぼれて内部に入った場合、火災や感電の原因になります。



禁止

注意 設置について

- 温度の高い場所に置かない。

直射日光の当たる場所、閉め切った自動車内、ストーブのそばなどに置かないください。キャビネットの変形や、故障による火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

- 湿気やほこりの多い場所、油煙の当たる場所に置かない。

調理器や加湿器などのそばやほこりの多い場所に置くと、火災や感電の原因となる場合があります。



禁止

- **電源プラグがかんたんに抜き差しできる場所に設置する。**

本機は電源プラグを遮断装置として使用しています。機器は電源コンセントの近くに設置し、すぐに手が届くようにしてください。

- **風通しの悪い場所に設置したり、密閉した箱などに入れたりしない。**

通風口などをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。壁や他の機器と間隔を空けて設置してください。

仰向けや横倒しにして設置したり、また、布などをかけて使用することはおやめください。



指示



禁止

注意 ご使用について

- **包装に使用しているポリ袋は小さなお子様の手の届くところには置かない。**

かぶったり飲み込んだりすると、窒息などの事故につながるおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。



禁止

- **内部に異物を入れない。**

通風孔などから内部に異物が入ると火災や感電の原因になります。特に小さいお子様が誤って異物を入れたりしないようご注意ください。



禁止

- **修理や改造、分解をしない。**

内部には電圧の高い部分があるため、触れると感電の原因となります。故障や点検は、必ず当社カスタマーセンターにご依頼ください。



禁止

- 雷が鳴り出したら充電器やケーブルに触らない。

感電する恐れがあります。



禁止

- 本機に乗ったりしない。

けがの原因となる場合があります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



禁止

- 旅行などで長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグを抜く。

万一の故障のときに火災の原因となる場合があります。



プラグを抜く



警告 お手入れについて

- 電源コンセントに差し込んだ電源プラグの周りにゴミやほこりが付着していたら、乾いた布でふき取る。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

定期的に電源プラグを点検してください。



指示

- お手入れのときは電源プラグを抜く。

感電の原因となる場合があります。



プラグを抜く

■ 本機について

本機にはバッテリーが内蔵されています。

バッテリーが消耗したり故障した場合は、交換、または修理対応になります。当社カスタマーセンターにご相談ください。

本機が壁のコンセントに接続されているときは、本機の電源をオフにしても、電源は接続状態になっています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI - B

注意：

- 本機の識別情報や電源定格を含む安全標の情報については本機の内側のメインラベルをご参照ください。
- 充電器は本機に付属の充電器のみを使用してください。別の機器や製造業者の充電器は使用しないでください。別の充電器を使用すると、本機が故障し、保証が無効になるおそれがあります。
- 本機を水(滴水、飛び散る水など)にさらしたり、また花瓶など、水の入った容器を本機の近くに置かないでください。
- 火の点いたキャンドルなどの裸火を本機の上に置かないでください。

注意

寒い場所で作動させると、印刷ができない場合があります。

このような場合は、本機が正常に動作するための適正温度(5℃～40℃)の部屋などに10分ほど置いてから再び印刷してください。(適正にご使用いただくには冬の野外では本機を使用しないことをおすすめします。)

警告

乾燥した環境で本機を使用する際は注意してください。

- 湿度が低い環境では静電気が生じる場合があります。
- 静電気を放電した後に本機を使用することをおすすめします。

充電式 電池



Li-ion00

- 貴重な金属を再利用し、地球環境を守るために、不要になった電池は廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へお持ち下さい。
- 最寄のリサイクル協力店の詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ：
<http://www.jbrc.com>

• 危険

- 液もれ、発熱、膨張、破裂の原因となるので、専用の機器以外で充電しないで下さい。
- 火中への投入、加熱、ショートなどをしないで下さい。
- 外装ラベルをはがしたり、傷をつけないで下さい。
- 60℃ 以上の高温での保管、使用をしないで下さい。
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁して下さい。
- 被覆をはがさないで下さい。
- 分解しないで下さい。

目次

安全にお使いいただくために	2
-------------------------	---

ステップ 1 はじめに	11
-----------------------	----

付属品を確認する	11
--------------------	----

各部の名称	11
-----------------	----

ドアの開閉	12
-----------------	----

電源を入れる	13
------------------	----

ステップ 2 バッテリーを充電する	14
-----------------------------	----

ステップ 3 フォトペーパーを入れる	16
------------------------------	----

スマートシートでプリンターヘッドを	
-------------------	--

クリーニングする	17
--------------------	----

フォトペーパーについて	18
-----------------------	----

紙詰まりを解消するには	19
-----------------------	----

ステップ 4 アプリのインストール	20
-----------------------------	----

Android端末用アプリをインストールする	20
----------------------------------	----

アプリを設定する	20
--------------------	----

iOS端末用アプリをインストールする	21
------------------------------	----

iOS端末のBluetoothを設定する	21
--------------------------------	----

ステップ 5 写真を印刷する	23
--------------------------	----

Android端末で印刷する	23
--------------------------	----

iOS端末で印刷する	26
----------------------	----

編集モードを使う	28
--------------------	----

印刷についてのご注意	28
----------------------	----

フォトペーパーを購入する	30
------------------------	----

本機のソフトウェアを更新する	30
--------------------------	----

ラベルを確認する	31
--------------------	----

LED ランプについて	32
-----------------------	----

仕様	34
--------------	----

困ったときは	35
------------------	----

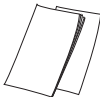
ステップ1

はじめに

付属品を確認する



ポケットフォトプリンター



取扱説明書
(本書)



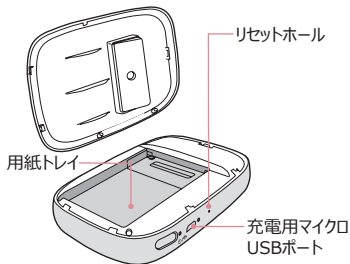
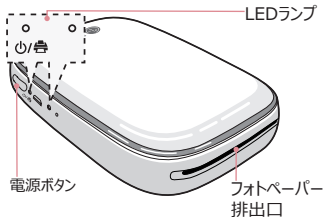
USBケーブル



フォトペーパー

- モデルや販売する国によっては、付属品の内容が異なる場合があります。(例：USBケーブル、フォトペーパーなど)

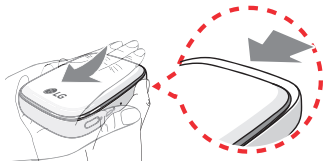
各部の名称



ドアの開閉

開ける

1. 上部カバーを動かなくなるまでスライドさせます。

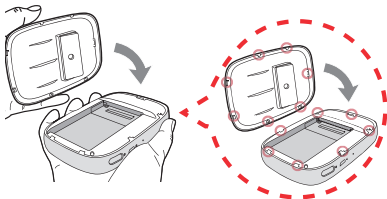


2. 上部カバーを取り外します。

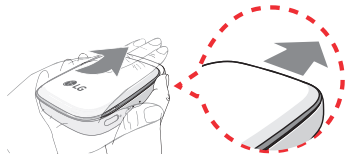


閉める

1. 上部カバーのツメと本体の穴を合わせて上部カバーを閉じます。



2. 上部カバーをスライドさせて固定します。



電源を入れる



電源ボタンを2秒間押して、電源をオンまたはオフにします。

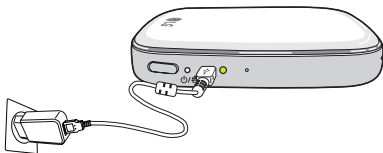
⚠ 注意

- 本機の電源をオンにすると、LEDランプ  が3秒間点滅します。その後、印刷が可能になります。
- 詳細は「LEDランプについて」をご参照ください。

ステップ2

バッテリーを充電する

本機は内蔵型バッテリーを使用しています。使用前に、スマートフォンのUSBデータケーブル(マイクロ5ピン)またはアダプターで、バッテリーをフル充電してください。



バッテリー充電時間：約1.5時間

充電状態はLEDランプで確認できます。

- ：電源オフ
- ：充電中
- ：フル充電
- 残量0%：約30秒程度点滅した後、消えます。本機を充電するには、常にDC 5V、1A 以上を使用する必要があります。LPS(Limited Power Source)に準拠する保証付き/指定のアダプター。

警告

- 感電を防ぐため、充電中は本機の扱いには気をつけてください。
- 暖房器具のそばに置かないでください。
- 分解や改造など製品が変形する行為をしないでください。
- 衝撃をあたえないでください。
- 極端な高温/低温や高湿度環境下での使用は避けてください。

ヒント

- スマートフォンのUSBデータケーブルでPCに接続できますが、充電時間が長くなることがあります。
- バッテリーの使用時間はバッテリーの状態や操作状況、使用環境などによって異なる場合があります。
- バッテリーが放電された場合、10分以上充電すると再び印刷できるようになります。(連続して印刷するにはフル充電してください)

ステップ3

フォトペーパーを入れる

1. 上部ドアを開けます。

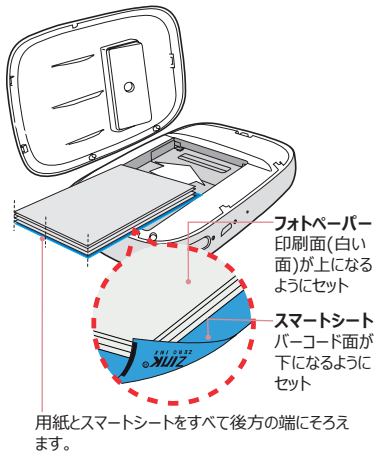


2. フォトペーパーを袋から出します。

3. 用紙トレイにスマートシート（青）とフォトペーパーと一緒にセットして、上部カバーを閉じます。

- 一回にセットするフォトペーパーは10枚以下にしてください。それ以上セットするとフォトペーパーが2枚排出されたり、フォトペーパーが詰まるおそれがあります。
- 開封後、残ったフォトペーパーは密閉袋に入れて保管してください。
- スマートシートとフォトペーパーは付属していません。
- 使用する際は、別途フォトペーパーをお求めください。
- スマートシートはフォトペーパーに同梱されています。

- 印刷中の場合を除き、本機を電源に接続しているときは常に充電されます。



スマートシートでプリンターヘッドを クリーニングする



スマートシート（クリーナー）

新しいスマートシートとフォトペーパーを挿入すると、本機はスマートシートのバーコードを読み取って印刷を最適な状態にします（スマートシートは最初の印刷の前に排出されます）。

スマートシートは印刷の品質を保つために、プリンターのヘッドをクリーニングをします。ヘッドに異物が付着した場合は、スマートシートを使用してください。

✔ ヒント

スマートシートについて

スマートシートは、使用するフォトペーパーと同じ袋に入っているものを使用してください。

- 別の袋のスマートシートを使用すると印刷品質が低下する場合があります。
- 印刷品質の異常または、低下がみられた場合は、スマートシートを3～5回繰返し出力してください。
- スマートシートは同じ袋のフォトペーパーを使い切るまで再利用してください。

フォトペーパーについて



フォトペーパーパック

フォトペーパーはポケットフォトプリンター専用のものを使用してください。

他の製品を使用した場合、印刷品質が低下する可能性があります。また、本機の故障の原因となる場合があります。

⚠ 印刷のご注意

- フォトペーパーを損傷させたり折り曲げたりしないでください。
- 汚れたフォトペーパーを使うと、故障の原因となる場合があります。
- フォトペーパーの有効期限を確認して使用してください。
- フォトペーパーを汚さないよう、取り扱いには気をつけてください。
- 袋を開けたままにしておくと、フォトペーパーが変形したり、変色したりする場合があります。袋を開けた後は早めに使用することをおすすめします。
- 本機を車の中に置いたり、直射日光や湿気に当てたりしないようにしてください。
- 本機を極端な高温/低温や高湿度環境下での保管、使用は避けてください。写真の印刷の品質が低下する場合があります。

紙詰まりを解消するには

フotpーパーを引っ張らないでください。本機の電源をオフにし再びオンにすると、フotpーパーが自動的に排出されます。

- 異物やほこりがローラーに付着していると、フotpーパーが正しく排出されない場合があります。
- フotpーパーが折れ曲がっていると、紙詰まりが発生することがあります。
- この方法で紙詰まりが解消しない場合は、「困ったときは」をご参照ください。

ステップ4

アプリのインストール

Android端末用アプリをインストールする 

- ① Playストアから (Google Playストア)
「LG Pocket Photo」を検索してください。
- ② QRコードから
製品ケースにあるQRコードをスキャンします。

アプリを設定する 
[設定]のオプションを設定します。



- **Bluetooth** : Bluetoothを利用して印刷します。

[ユーザーガイド]で詳細情報を確認

アプリに関するより詳しい情報は[ユーザーガイド]をタッチしてください。



iOS端末用アプリをインストールする **iOS**

① App Storeから

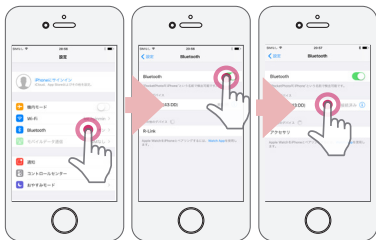
「LG Pocket Photo」を検索してください。

② QRコードから

製品ケースにあるQRコードをスキャンします。

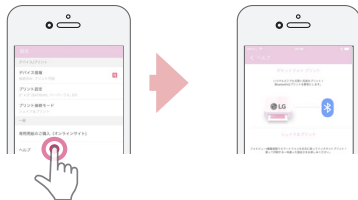
iOS端末のBluetoothを設定する **iOS**

1. iOS端末のホーム画面で、[設定]をタッチします。
2. [Bluetooth]をタッチして、スライダをタッチすると、Bluetoothが[オン]になります。
3. iOS端末に本機を接続するには、本機の電源をオンにし、iOS端末が本機を検出できる状態になっていることを確認してください。
4. 本機の名前がiOS端末画面上に表示されたら、[Pocket Photo]をタッチします。



[ヘルプ]で詳細情報を確認

アプリに関するより詳しい情報は[ヘルプ]をタッチしてください。



ステップ5

写真を印刷する

Android端末で印刷する

Bluetooth()を利用した印刷方法

本機の電源をオンにし、LEDランプ  がオンになると印刷が可能になります。

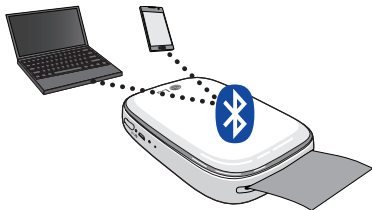
1. Android端末の「Pocket Photo」を実行します。
2. 印刷する写真を選択し、 をタッチします。
3. [はい] をタッチし、Bluetooth機器を検索します。
 - 印刷するには、プレビュー画面で印刷モードまたはプリント枚数を設定します。

4. 本機が初めてペアリングされると、Bluetoothのペアリング設定リクエストが表示されます。[ペアリング]をタッチするか、またはPINコード「0000」を入れると印刷がはじまります。

- スマートシートが本機の中に入っていると印刷の前
に排出されます。



- ❶ Android端末やパソコンからBluetoothでPocket Photoアプリを起動せずに直接印刷することもできます。
スマートフォンやパソコンが本機とBluetoothで接続されている状態で、写真を選択し、[共有]または[送る] → [Bluetooth]などの設定の順に操作してください。



✔ ヒント

- お使いの機器がBluetooth機器を検索しない場合は、本機の電源を確認してください。
- 印刷できる写真のファイルサイズは10MB以下までです。
- 設定画面はモバイル端末のメーカーによって異なる場合があります。

Android端末の「Pocket Photo」の設定

デバイス/バッテリーの状態、印刷された写真の枚数、MACアドレス、デバイスのバージョンを確認することができます。そして、印刷モードと自動電源オフの設定を変更することができます。

1. Android端末の「Pocket Photo」を実行します。
([デバイス情報]を確認するには、モバイル端末のBluetoothをチェックして設定します。)
2. [設定]に移動します。
3. [デバイス情報]をタッチします。



4. [プリント設定]

ペーパーフル	余白が生じないように、フチなしで印刷します。(画像の端がカットされる場合があります)
画像フル	フルサイズで画像を印刷します。(フォトペーパーの端に余白が生じる場合があります)
自動デバイス電源オフ	本機が自動的に電源オフになる時間を設定します。(初期設定は[5分]です。)



注意

[自動デバイス電源オフ]の時間を長く設定すると、バッテリー消費も多くなり、最大プリント可能枚数も変わる場合があります。

iOS端末で印刷する

Bluetooth()を利用した印刷方法

本機の電源をオンにし、LEDランプ  がオンになると印刷が開始できます。

1. iOS端末の「Pocket Photo」を実行します。
2. 印刷する写真を選択し[]をタッチします。
3. [プリント]というメッセージが表示されます。[写真をプリントします。]を選択して印刷を開始します。
 - 印刷するにはプリントモードやプリント枚数をプレビュー画面で設定します。
 - Bluetoothを設定していない場合は、[ペアリングしているデバイスがありません]と表示されます。(iOS端末のBluetoothを設定する)をご参照ください。)
 - スマートシートが本機の中に入っていると印刷の前には排出されます。



ヒント

iPhoneもしくはiPadの場合、iOS端末のBluetoothがオンになっている状態でPocket Photoの電源を入れると、最後にペアリングされたiPhoneもしくはiPadがPocket Photoに自動的にペアリングされます。

iOS端末の「Pocket Photo」の設定

デバイス/バッテリーの状態、印刷された写真の枚数、MACアドレス、デバイスのバージョンを確認することができます。そして、印刷モードと自動電源オフの設定を変更することができます。

1. iOS端末の「Pocket Photo」を実行します。
([デバイス情報]を確認するには、iOS端末のBluetoothを[オン]に設定します。)
2. [設定]に移動します。
3. 設定オプションを選んで変更します。



4. [プリント設定]

ペーパーフル	余白が生じないように、フチなしで印刷します。(画像の端がカットされる場合があります)
画像フル	フルサイズで画像を印刷します。(フォトペーパーの端に余白が生じる場合があります)
自動デバイス電源オフ	本機が自動的に電源オフになる時間を設定します。(初期設定は[5分]です)

⚠ 注意

[自動デバイス電源オフ]になる時間を長く設定すると、バッテリー消費も多くなり、最大プリント可能枚数も変わる場合があります。

編集モードを使う

メニューにある編集ツールを使うと写真の品質や色、サイズを変更することができます。

さまざまな画像補正フィルターと一緒に編集機能をお楽しみいただけます。



印刷についてのご注意

- 本機の印刷は熱転写式のため、印刷された写真はモバイル端末の画面に表示される画像の色味と異なる場合があります。
- Pocket Photoアプリは最新のものを使用してください(印刷時に画像が最適化されます)。
- 画像解像度が高いほど、写真は高画質に印刷されます(適正解像度は1280×2448ピクセル以上です)。
- バッテリーが完全に充電されると、連続して20枚まで印刷できます。
- フル充電された状態では、印刷する写真がISO 24712に準拠するカラーイメージである場合、約20枚まで印刷できますが、印刷する写真の出力環境によって最大出力枚数が変わる場合があります。

- 本機以外にも機器がある場合、ラベルのMACアドレスを確認して、ご使用になる機器を選んでください。
(「ラベルを確認する」をご参照ください。)
- Bluetooth機器の検索・伝送は環境によっては失敗することがあります。お持ちのモバイル端末のBluetooth環境を確認した後、再度試してください。複数のモバイル端末をペアリングするときは、再度ペアリングが必要な場合もあります。

注意

- 印刷中に無理にフォトペーパーを引っ張らないでください。
- フォトペーパー排出口の前に物を置かないでください。
- 本機に振動や衝撃が加わると印刷される写真の品質が低下する場合があります。
- パスポートやビザ用写真の印刷には適さない場合があります。証明写真等はスタジオで撮影された画像の印刷をおすすめします。
- 画像(特に暗い画像)により印刷の品質が元の画像と異なる場合があります。Pocket Photoアプリで画像の明るさ等を補正して印刷してください。
- Pocket Photoアプリの解像度は1440x2560ピクセルに最適化されます。(Android)

フォトペーパーを購入する

1. フォトペーパー取扱店を調べるには、設定またはメニュー画面に移動します。
2. [専用用紙のご購入（オンラインサイト）]をタッチし、お住まいの国を選びます。

本機のソフトウェアを更新する

本機をモバイル端末とペアリングすることで、本機のソフトウェアを更新し最新の状態にすることができます。

1. 本機とスマートフォンをBluetoothで接続します。
2. 「Pocket Photo」を実行し、[設定]メニューをタッチします。
3. ソフトウェアの新バージョンがある場合は、現在のバージョンと新しいバージョンが表示されます。

4. [ファームウェアのバージョン]ボタンをタッチし、本機を更新します。



⚠ 注意

- 本機の更新中は、電源をオフにしたりリセットボタンを押したりしないでください。
- ソフトウェアを更新すると、以前のバージョンに戻ることはできません。
- <http://www.lg.com> の「ダウンロード」からウィンドウズパソコン用の「ポケットフォト」アップデートツールをダウンロードすることができます。

ラベルを確認する

複数のポケットフォトを同時に利用する場合、各機器を識別するために製品のラベルを確認します。ラベルのMACアドレスを確認して、ご使用になる機器を選んでください。



1. 上部カバーを開けます。



2. 製品ラベルを確認します。

LEDランプについて

LED ランプで本機の状態を表示します。



セクション	LEDの色	状態/電源	説明
電源	 	待機/オン	印刷待機中です。しばらく使用しないと、デバイスは自動的に電源がオフになります。
	 	電源オン/点滅	電源を入れて準備ができるまで

電源	 	オフ	印刷するために、デバイスの電源を入れます。
	 	充電中	バッテリー充電中
	 	フル充電	バッテリーが完全に充電された状態
通常動作	 	バッテリーを充電/ゆっくり点滅	バッテリーの残量が30%未満
		バッテリーを充電/すばやく点滅	(バッテリーの残量が10%未満)印刷するために、充電してください。

通常動作	 ○ 	電源を切る準備完了/すばやく点滅	自動電源オフが設定されています。
	 ○   ○   ○ 	印刷、冷却モード/点滅	Bluetoothまたは印刷経由でデータを転送(連続印刷を行う間は、バッテリー過熱状態になっています。しばらくお待ちください。)
	 ○   ○   ○ 	更新/点滅 - 電源オン - 電源オフ	データがダウンロードされ、インストールされます。更新が完了すると、LEDが切れます。

エラー	 ○ 	低温/点滅	Pocketphotoを温めるかまたは周囲温度を上げ、その後しばらくしてから再試行してください。
	 ○ 	用紙切れ、紙詰まり/点滅	用紙を揃えてから差し込んで、再試行してください。
	 ○ 	サポートされていないファイル形式/点滅	対応する画像形式に変換してください。
	 ○ 	データ受信なし/点滅	しばらくしてから再試行してください。
	   	充電エラー/点滅	充電ケーブルを抜き、しばらくしてから再試行してください。

仕様

画像のサイズ	50 mm × 76 mm (ドットサイズ : 640 × 1224)
画像ファイルの種類/サイズ	PNG (最大 : 1350×1050)、 JPEG (ベースライン) /10MB以下 (プログレッシブJPEGはサポート されません)
使用できるフォト ペーパー	ZINK® フォトペーパー (LG Pocket Photo専用)
フォトペーパー 推 奨保存環境	温度 : 1 - 25℃ 湿度 : 40 - 55 % RH
本体推奨 動作環境	温度 : 5 - 40℃ 湿度 : 70%以下(35℃) (アプリ上で温度制限のメッセージ が現れます)
最適印刷環境	温度 : 15 - 32℃ 湿度 : 70% 以下 (32℃)
LEDランプ	電源/待機/データ転送・印刷/充 電/ローバッテリー/エラー/プリンター の状態 /更新

通信	Bluetooth4.0
外部コネクター	マイクロUSB端子(充電用)
バス電源供給 (USB)	(アダプター)DC 5 V  1.0 A
バッテリー寿命	470 mAhリチウムポリマー充電 式バッテリー
画像解像度	1280 × 2448ピクセル以上
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	約 122.5 mm x 79.8 mm x 22.5 mm
本体質量	約 169 g
Pocket Photo アプリに対応する バージョン	• アンドロイドv4.4以上 • iOS v9.0以上

- スマートフォンは、メーカー、使用環境、またはOSにより、本機と互換性がない場合があります。
- デザインと仕様は予告なしに変更される場合があります。

※ その他会社名、各製品名は、各社の商標
または登録商標です。

困ったときは

問題	原因/対処方法
電源がオンにならない	バッテリーの残量が不足している場合は、充電してください。 充電する際に本機が充電器、またはパソコンにしっかり接続されているかを確認してください。
Bluetoothペアリングが正常に機能しない	スマートフォンのBluetoothを再実行し、スマートフォンの設定から本機とペアリングしてください。 本機の電源をオンにし、5秒後再び印刷(ペアリング)してください。 本機の電源がオンになっているか確認してください。

問題	原因/対処方法
印刷の前に紙が詰まった	1. 本機の電源をオフにしてから再びオンにすると、フォトペーパーが自動的に排出されます。 2. 上記の方法で紙詰まりが直らない場合、上部ドアを開けて詰まったフォトペーパーをゆくり取り除き、スマートシート(青色)を一番下に入れてフォトペーパーを整え、もう一度挿入し印刷してください。
印刷中に紙が詰まった	
印刷された写真に線が入る	上部ドアを開けて、スマートシートを一番下に入れてフォトペーパーを整え、もう一度挿入し印刷してください。(上部ドアの開け方は、「ドアの開閉」をご参照ください。)
画像が印刷されない、正しく印刷されない	
画像の端がカットされる	アプリの設定で[プリントモード]を[画像フル]にすると全体画像が印刷されます。

問題	原因/対処方法
フォトペーパーの端に余白がある	[プリントモード]が[画像フル]に設定されていてフォトペーパーのアスペクト比と画像が一致しない場合、余白が生じる場合があります。 [ペーパーフル]となっている場合、画像の端がカットされるか、または小さい余白が生じる場合があります。

問題	原因/対処方法
印刷された写真の質が悪い	アプリの[>]メニューで画像を拡大して印刷した場合、写真の品質が低下する場合があります。 本機の電源をオフにして、スマートシートをフォトペーパーの一番下に入れて挿入し、印刷してください。 写真サイズが適切な解像度(1280 × 2448ピクセル)以上であることを確認してください。 スマートシートは、使用するフォトペーパーと同じ袋に入っているものを使用してください。 他のメーカーのフォトペーパーを使用した場合の印刷品質や本機が故障した場合は、保証の対象外です。

問題	原因/対処方法
印刷できない	予熱が必要です。約 2 分お待ちください。 本機にフォトペーパーが入っているかを確認してください。 スマートシートが排出されてから印刷するまで時間がかかることがあります。 画像ファイルのサイズが10MB以下であることを確認してください。 ベースライン形式のJPEGまたはPNG(最大1350×1050)のみ対応しています。
本機の電源が自動的にオフになる	アプリの設定で [自動デバイス電源オフ] 時間を確認してください。
上記の方法で解決できない	シャープペンシルなど細いもの(鋭利でないもの)で「リセットホール」を押して、本機を初期化してください。

無線について

2.4 FH1

本製品は2.4GHz帯全域を使用する無線機器です。電波方式にはFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

- ・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下を行うと法律により罰せられることがあります。
 - 本製品を分解、改造すること
 - 本製品に貼られている認証ラベルをはがすこと
- ・本製品は2.402～2.480GHzまで使用できますが、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用しています。
 - 産業、および科学、医療用機器など
 - 工場の製造ライン等で用いられる免許を要する移動体識別用無線局または、免許を要しない特定小電力無線局やアマチュア無線本製品をご使用前に、近くで上記に該当する無線が使用されていないか、ご確認ください。万が一、本製品との間に電波の干渉が発生した場合は本製品の使用する場所を変える、または使用を停止してください。

修理の受付・操作・故障に関するお問い合わせ窓口

LG Electronics Japan(株) カスタマーセンター

固定電話から



0120-813-023

携帯電話・PHS から



0570-200-980

IP電話などからフリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用いただけない場合はTEL:03-5675-7323までご連絡ください。

お客様からご提供いただいた個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
利用目的の範囲内での当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。お客様の個人情報
情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。

受付時間 平日 : 9:00 ~ 20:00 (年末年始など当社指定日を除く)
土日・祝祭日 : 9:00 ~ 18:00

修理に関するご案内

取扱説明書を再確認していただき、なお異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いて、当社カスタマーセンターに修理をご依頼ください。

- 保証書(別添)について
ご購入の際は、ご購入の年月日、販売店名などの所定事項が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。
保証期間は保証書に記載されています。
- ご注意
保証期間中は保証書の規定(保証書の裏面記載事項)に従って無料修理させていただきますが、保証書の提示がない場合や、一般家庭外(たとえば業務用)で使用したことによる故障修理は有料修理となります。詳しくは保証書記載の[無料修理規定]をご確認ください。修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作によりけがをすることがあります。(故障時は有料になります。)



LG LG Electronics Japan 株式会社

〒104-8301 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー15階
<http://www.lg.com/jp>